阪東橋駅・黄金町駅エリア

阪東橋駅・黄金町駅周辺エリアは「南区総合庁舎」「横浜市立大学付属市民総合医療センター」「浦舟複合福祉施設」など南区の行政、医療・福祉施設が集まる、多くの人々が活動するエリアです。

そこで、様々な立場の人々が、分かりやすく安全に駅や施設を利用できるように平成 27 年3月にバリアフリー基本構想を作成しました。

くわしくは
以下の HP で

「バリアフリー基本構想」とは

鉄道駅等の旅客施設を中心とした地区等で、高齢者、障害者などが利用する施設が集まり、施設間の移動が通常徒歩で行われる地区（重点整備地区）において、公共交通機関、建築物、道路、路外駐車場、都市公園、信号機などのバリアフリー化を重点的かつ一体的に推進するために作成する構想のことです。

「バリアフリー基本構想」では重点整備地区の範囲、バリアフリー化のために実施すべき事業（特定事業等）の内容等を定めます。個々の施設のバリアフリー化だけではなく道路と施設等の連続性を確保したバリアフリー化のために基本構想を作成します。

横浜市ではこの基本構想に基づいて、まちのバリアフリー化を進めています。

「バリアフリー基本構想」に基づいた整備事業

「バリアフリー基本構想」に基づいて、各事業者が重点整備地区内のバリアフリー化の事業を実施します。

- ○ 公共交通特定事業（旅客施設等のバリアフリー化に関する事業）
- ○ 交通安全特定事業（音響式信号機の設置等に関する事業）
- ○ 都市公園特定事業（公園のバリアフリー化に関する事業）
- ○ 道路特定事業　（歩道等のバリアフリー化に関する事業）
- ○ 建築物特定事業（建築物のバリアフリー化に関する事業）
- ○ その他の事業　（その他のバリアフリー化に関する事業）

バリアフリーの豆知識

視覚障害者誘導用ブロックを設置する場所

視覚障害者誘導用ブロックは視覚障害のある方々が街を少しでも自由に移動するためのものです。

そのために、交差点、横断歩道、立体横断施設の昇降口、指定施設の出入口等に面する歩道、バス停、タクシー乗降場、障害物の回避などに設置します。

また、横浜市では区役所、図書館など、市が設置する全市一館施設その他これに準ずる広域的な利用の総合病院等から、最寄りの駅、バス停への経路には、視覚障害者誘導用ブロックを連続的に敷設します。

発 行　**横浜市道路局 計画調整部 企画課**　令和４年11月発行

〒231-0005　横浜市中区本町6丁目 50 番地の 10
電話番号：045-671-4086　ファクス：045-651-6527
メールアドレス：do-barrierfree@city.yokohama.jp
ホームページ　：　https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/machizukuri-kankyo/doro/jigyo_kikaku/barrier-free/bf.html

横浜市バリアフリー基本構想

BANDOBASHI STATION & KOGANECHŌ STATION AREA BANDOBASHI STATION & KOGANECHŌ STATION AREA BANDOBASHI STATION & KOGANECHŌ STATION AREA BANDOBASHI STATION & KOGANECHŌ STATION AREA BANDOBASHI STATION & KOGANECHŌ STATION AREA

この冊子は「横浜市バリアフリー基本構想」により、令和3年9月までに実現した成果をお知らせするものです。

ヨコハマこんなマチになりました

横浜市バリアフリー基本構想 Before/After

黄金町駅
ホームにある視覚障害者誘導用ブロックの規格を統一しました。

視覚障害者誘導用ブロックを設置しました。

Before

After

視覚障害者誘導用ブロックの連続配置を行い、また、歩道を平坦にしました。

Before

阪東橋バス停前　After

After

阪東橋駅
トイレが改修されました。

Before

After

段の先端を分かりやすく、階段を改修しました。

Before

After

点字・音声案内付きサインが整備されました。

道路にあんしんカラーベルトを設け、車両から歩行者空間を識別しやすくしました。

Before

After

南区総合庁舎
全ての入口に視覚障害者誘導用ブロックが設置されています。